

会山行 No.2391

大菩薩連嶺：笹子雁ヶ腹摺山

- ◆日程 2022年11月5日(土)
 ◆メンバー L: SD、YN、ST、OY、NO、HY、KN

雁ヶ腹摺山は全部で3つあるそうだ。

一般的には一番有名なのであろう500円札の図柄になった「雁ヶ腹摺山」と、会山行も実施された「牛輿雁ヶ腹摺山」、そして今回登る「笹子雁ヶ腹摺山」の3つである。

思えば「笹子雁ヶ腹摺山」の山行計画も、何度か計画されたが色々あって実現を見なかった。そこで今回の計画である。紅葉シーズン真っ盛り、天気も良さそう・・・で参加することにした。

以前、会山行本社ヶ丸に参加して以来2度目の中央線笹子駅待ち合わせ、相変わらず周りにもない駅で、静かなスタートである。

笹子に向かう車窓から見える景色は、正に紅葉真っ盛りで期待をしていたが、寒気の影響か、いかんせん天気はどんより、おまけに結構寒い。

車で来られたYNさんとも合流、しばらく20号線沿いを舗道歩きして、登山口より笹子雁ヶ腹摺山に入る。

ゆっくりと鬱蒼とした紅葉の広葉樹帯を登って行く。そういえば、中央線は登山客やハイカーで賑わっていたが、笹子で降りたのはパラパラだった・・・

ということで、登っているのは我々パーティーのみという感じで、静かな登りである。

登山道は落葉が一杯に敷き詰められているようで、サクサクと言うよりはザクザクと言った山盛り風情である。

途中、少し休憩を入れながら進んでいくが、尾根道は進むほどに斜度が厳しくなってくる。最後は結構な急登で、2時間位で登頂した割には、歯ごたえのある山との印象である。

振り返ると、登山口から頂上までほぼ登りで平らなところがないのが特徴といった感じだ。

山頂で昼食休憩、10度に満たない気温で、早々に笹子峠方面に下山にかかる。

峠方面からの登山者数人とすれ違いながら、落葉と紅葉の入り混じったやや単調な景色の中、笹子峠に到着、登録有形文化財に指定されている旧甲州街道の笹子隧道で写真撮影。

文化財というだけあって、何かモダンで素敵な雰囲気静かな山奥に佇んでいて、畏敬の念を感じざるを得ないものであった。

途中、樹齢1000年以上の杉の巨木である「矢立の杉」に立ち寄り、笹子駅に到着。

静かでどこか趣深さを感じさせられる良い山行であった。

(記：今)



CT: JR 笹子駅 9:00 - 登山口 9:45 - 笹子雁ヶ腹摺山山頂 11:15 - 笹子峠 12:40 -
 旧笹子隧道 12:55 - 矢立の杉 13:20 - JR 笹子駅 15:00